

# 【鷹党】8文字の応援メッセージ第2弾募集！ ネクストバッタースサークルにファンの言葉。 第1弾「応援を力に変えて」が6/11から掲出

- 福岡在住ホークスファンのゆかさんのメッセージが第1弾に決定！  
第2弾7月分募集は「夏よりもアツい鷹」をテーマに5月7日（火）まで -



みずほ PayPay ドームネクストバッタースサークルに掲出する PR TIMES 広告と6月から掲出する応援メッセージのイメージ（写真提供：福岡ソフトバンクホークス）

プレスリリース配信サービス「PR TIMES」等を運営する株式会社 PR TIMES（東京都港区、代表取締役：山口拓己、東証プライム：3922）は、2024年の福岡ソフトバンクホークスオフィシャルスポンサーに就任し、球団本拠地であるみずほ PayPay ドームのネクストバッタースサークルへファンから募集した応援メッセージを掲出いたします。球団として初となるネクストバッタースサークルへ掲出する企業広告のスペースを活用し、ファンの皆様の応援を選手へお届けします。

第1弾のメッセージは、福岡在住ホークスファンのゆかさん応募の「応援を力に変えて」に決定し、6月11日（火）から掲出開始いたします。

そして、7月に掲出する第2弾の応援メッセージについて、テーマを「夏よりもアツい鷹」とし、本日4月26日（金）から募集開始いたしました。応募の締め切りは5月7日（火）です。

第2弾 応募フォーム <https://tayori.com/f/hawks-message-002/>

6月は「応援を力に変えて」に決定。7月の応援メッセージは「夏よりもアツい鷹」をテーマに募集！

福岡ソフトバンクホークスとしても、当社としても、初となったネクストバッタースサークルにファンの応援メッセージを広告掲出する本取り組みですが、3月19日～31日の間に181件の応募をいただきました。最大8文字という短い言葉に創意工夫を凝らしたメッセージが届き、ファンの皆様の福岡ソフトバンクホークスへの熱い思いを感じました。

6月からのネクストバッタースサークルへは、福岡在住ホークスファンのゆかさんに応募いただいた「応援を力に変えて」を球団に選定いただき、応援メッセージとして掲出します。

そして、4月26日より、7月から掲出する応援メッセージの募



集を開始しました。今回のメッセージは夏本番を前にさらにアツク活躍が期待される福岡ソフトバンクホークス選手の皆さんへ届ける「夏よりもアツい鷹」をテーマとさせていただきます。

グラウンドで戦う選手にとってファンの皆様からの応援は何にも変えられない大きな力となります。熱量高く発信された思いはきっと大切な人に届き、その人の感情を揺さぶることができます。チームの勝利を信じ、応援を続けるファンの応援が、選手にリアルに届くという体験を PR TIMES が実現します。

このネクストバッターズサークルに掲出するファンの皆様から応募いただいた応援メッセージは、毎月募集し張り替える予定です。今回は7月に掲出する第2弾となり、8月に第3弾、9月（10月も含む）に第4弾と続く予定です。8月以降のテーマと募集は、改めて当社プレスリリース等でお知らせいたします。

## 6月11日（火）みずほ PayPay ドーム開催試合から掲出開始「応援を力に変えて」

6月からの応援メッセージに決定した「応援を力に変えて」が書かれたネクストバッターズサークルは、6月11日（火）の本拠地みずほ PayPay ドーム開催の東京ヤクルトスワローズ戦より掲出開始となります（以降6月の本拠地開催試合で掲出されます）。ファンの皆様の“応援を力に変える”べく、現地で応援にお越しいただきご覧いただけると幸いです。



6月11日より、ネクストバッターズサークルに掲出する応援メッセージのイメージ。レイアウトなど変更となる場合があります。

## 第2回「福岡ネクストバッターズサークルで伝える応援メッセージ」応募概要

応募期間：2024年4月26日（金）～2024年5月7日（火）

掲載日程：2024年7月上旬～2024年7月末頃（予定）

ピンクフルデー／鷹祭等のイベントデーは、別途専用のデザインのネクストバッターズサークルが使用されます。

掲載箇所：みずほ PayPay ドーム内1塁ホーム側ネクストバッターズサークル

募集概要：8文字以内で福岡ソフトバンクホークスを応援するメッセージ

テーマは「夏よりもアツい鷹」。暑さに負けず戦う選手を勇気付けるメッセージをお待ちしています。

※イメージのように上下2段に構成されます

特定選手の応援や順位にまつわるメッセージはご遠慮ください。

決定する応援メッセージは月ごとに1つまでとなります。

1人で応募いただける応援メッセージは月ごとに1つまでとなります。

応募方法：[応募フォーム](#)より期間内にお申し込みください。

## PR TIMES がプロ野球チームのパートナーに就任する理由

PR TIMES は、企業が新しい情報を公式発表するプレスリリースを、広く世の中に届けるプラットフォームを運営しています。私たちは人の行動や頑張りの結晶を、その想いを紡いで発表するのがプレスリリースだと考え、企業規模や地域を問わず「行動者」が自ら発信できる、PRの民主化を目指しています。

2017年からは各地域の金融機関やメディア・自治体との提携を進めているほか、22年9月からは地元企業に出演いただく全国12エリア別の地域CMを展開。合わせて同年10月からは広報PRをテーマにした地元企業の学びと交流の場「そこで、PRゼミ！」を沖縄～愛知の6都市で開催し、広報PR担当者向けコミュニティイベント「PR TIMES カレッジ」は

23年、初の全国5エリア(福岡～北海道)での同時開催をいたしました。地域企業の皆様から伺う人手不足や顧客の高齢化といった多くの課題に対し、広報PR活動にももっとできることがあると感じています。



プロ野球チームは北海道から福岡まで 12 球団が全国各地に本拠地を置き、地域に根差した熱量高い地元のファンを多く抱えます。特に福岡ソフトバンクホークスは、パ・リーグ球団で最多の総会員数約 70 万人を誇り、その有料会員の内の 50.1%が福岡県居住者であり、地域内外から支持される球団です。2024 年シーズンは日本代表監督経験もある球団レジェンド OB の小久保氏が新監督に就任し、期待も高まります。

福岡ソフトバンクホークスのオフィシャルスポンサー就任と今回の施策を通じて、地元の方々に PR の持つ可能性と併せて当社について知っていただける機会となることを期待しています。



## 株式会社 PR TIMES について

PR TIMES (読み: ピーアールタイムズ) は、「行動者発の情報が、人の心を揺さぶる時代へ」をミッションに掲げ、「行動者」のポジティブな情報がニュースの中心となり、個人を勇気づけ前向きにする社会の実現に挑んでいます。私たちは人の行動や頑張りの結晶を、その想いを紡いで発表するのがプレスリリースだと考え、企業規模を問わず「行動者」が自ら発信できる、PR の民主化を目指して事業を展開しています。プレスリリース配信サービス「PR TIMES」の利用企業社数は 9 万 4000 社 を超え、国内上場企業の 57% 超 に利用いただいています。情報収集のため会員登録いただく メディア記者 2 万 6000 人超、サイトアクセス数は 月間約 9000 万 PV、プレスリリース件数は 月間 3 万 4000 件超、累計で 100 万件 を超えています。全国紙 WEB サイト等含む パートナーメディア 240 媒体以上 にコンテンツを掲載しています (2024 年 2 月時点)。



他にも、ストーリーで伝える「PR TIMES STORY」、動画で伝える「PR TIMES TV」、PR 活動の設計から実行まで伴走する PR パートナー事業、アート特化型の PR プラットフォーム「MARPH」、「isuta」「STRAIGHT PRESS」 等のニュースメディア事業で、情報発表とその伝播を支援する他、生まれた企画が発表に至るまで前進できるよう支える タスク・プロジェクト管理ツール「Jooto」、さらに発表後のお客様対応や情報整理を円滑に行える カスタマーサポートツール「Tayori」 など、「行動者」を立体的に支える事業を運営しています。

また子会社には、スタートアップメディア「BRIDGE」 を運営する株式会社 THE BRIDGE、ソフトウェア受託開発を行う株式会社 グルコース、SNS マーケティング支援の株式会社 NAVICUS があります。

### 【株式会社 PR TIMES 会社概要】

ミッション: 行動者発の情報が、人の心を揺さぶる時代へ

会社名: 株式会社 PR TIMES (東証プライム 証券コード: 3922)

所在地: 東京都港区赤坂 1-11-44 赤坂インターシティ 8F

設立: 2005 年 12 月

代表取締役: 山口 拓己

事業内容: - プレスリリース配信サービス「PR TIMES」 (<https://prtimes.jp/>) の運営  
 - ストーリー配信サービス「PR TIMES STORY」 (<https://prtimes.jp/story/>) の運営  
 - クライアントとメディアのパートナーとして広報・PR 支援の実施  
 - 動画 PR サービス「PR TIMES TV」「PR TIMES LIVE」 (<https://prtimes.jp/tv/>) の運営  
 - アート特化型オンライン PR プラットフォーム「MARPH」 (<https://marph.com/>) の運営  
 - カスタマーサポートツール「Tayori」 (<https://tayori.com/>) の運営  
 - タスク・プロジェクト管理ツール「Jooto」 (<https://www.jooto.com/>) の運営  
 - 広報 PR のナレッジを届けるメディア「PR TIMES MAGAZINE」 (<https://prtimes.jp/magazine/>) の運営  
 - プレスリリース専用エディター「PR Editor」 (<https://preditor.prtimes.com/app/>) の運営  
 - Web ニュースメディア運営、等

URL: <https://prtimes.co.jp/>